

PET プローブ製造のいろは

2011/5/23 (月) 17:30～18:30

大阪大学医学部 講義棟 2 階 C 講堂

理化学研究所 分子イメージング科学研究センター

ユニットリーダー **高橋 和弘** 先生

PET を用いた分子イメージング研究では、利用目的に即した分子プローブの開発が非常に重要です。高橋和弘先生は、秋田県立脳血管研究センター、放射線医学総合研究所、理化学研究所分子イメージング科学研究センターという日本を代表する数々の PET センターにおいて、長年、PET 分子プローブの開発に携わってきました。PET プローブ製造に関する様々な経験談を交えながら、PET プローブ開発と製造製造現場の面白さと問題点をお話しいたします。

略歴

昭和 58 年 3 月 東北大学大学院薬学研究科前期修了
昭和 58 年 4 月 秋田県立脳血管研究センター 研究員
平成 10 年 3 月 東北大学 博士(医学)取得
平成 10 年 4 月 秋田県立脳血管研究センター 主任研究員
平成 18 年 7 月 (独)放射線医学総合研究所 主任研究員
平成 19 年 7 月 (独)理化学研究所分子イメージング科学研究センター イメージング
基盤ユニット
平成 20 年 10 月 同ユニットリーダー

主 催: PET 分子イメージングセンター

連絡先: 大阪大学医学系研究科核医学講座 (06-6879-3461)

hatazawa@tracer.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.tracer.med.osaka-u.ac.jp/index-jp.htm>